

ものづくり博 2018 in 東三河

日時：2018年6月15日（金）～6月16日（土） 10:00～17:00

場所：豊橋市総合体育館

豊橋技術科学大学は、6月15日（金）～6月16日（土）に豊橋市総合体育館で開催された「ものづくり博2018 in 東三河（主催：東三河広域経済連合会）」に協賛しました。当センターは大学出展ブースにおいて、大平孝研究室、松尾幸二郎研究室それぞれが進める研究をパネル紹介・デモ展示を通じて紹介しました。

電気・電子情報工学系 大平研究室では

『波動で走る未来ビークル登場』－電池なしで?! Go to the Future!－と題し、電池の入っていないバッテリーレス電気自動車が道路から波動エネルギーを受けて豊橋の街並みを走行するジオラマ模型を展示・紹介しました。

会場では動くジオラマを見に来るお子さんや、電化道路電気自動車の説明を聞きに来られた研究者の方など幅広い層の多くの方よりご関心をお寄せ頂きました。

また、「EVER (Electric Vehicle on Electrified Roadway)を早く実用化してほしい」「研究はどこまで進んでいるか」などのご要望・質問も頂きました。



■ 来場者への説明



■ 取材に答える坂井尚貴助教

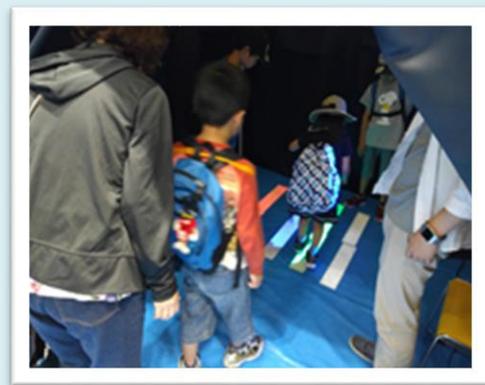
建築・都市システム学系 松尾研究室では

『光路面標示システムの開発と評価』－光る路面標示で夜の交通を安全に－と題し、蛍光路面標示や路面プロジェクションといった光路面標示システムを展示・紹介しました。

当ブースにお越し下さった400名を超える来場者の方には、夜の交通を安全へと導く光路面標示のデモ体験をして頂きました。通常は白い路面標示にブラックライトが照射され赤・緑・青に光った瞬間、「すごい」「きれい」などといった声や、「新たな技術で道路がより安全になることを期待している」という声も頂き、身近な道路から広がる未来の交通システムやまちづくりへの期待や関心の深さが伺えました。



■ 来場者への説明



■ 光る路面を歩く来場者

★期間中、会場に足をお運び下さいました皆様ありがとうございました。